

整理番号 2017P-133  
補助事業名 平成 29 年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業  
補助事業者名 社会福祉法人日本点字図書館

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」の製作・配布により、視覚障害者の就業継続に必要な医療情報及び自立した生活を送る為に必要な生活情報を必要な時に入手することを可能にし、当事者及びその支援者にとって質の高い生活を提供・支援することが目的です。

### (2) 実施内容（完了報告URL：<http://www.nittento.or.jp/report/jka29.html>）

視覚障害者で、就業継続にも役立つ医療を必要とする方、および日常生活に関する各種情報を得ることで視覚に障害がありながらも自立した生活を希望する方を対象に、録音雑誌「医学研究」「ホームライフ」を発行しました。「医学研究」では、三療に関する記事および雑誌「医道の日本」その他からの抜粋記事を掲載しました。また、「ホームライフ」では、料理・育児・新製品などの実用記事や、暮らしの情報・話題を収録しました。毎月 1 回（平成 29 年 4 月より平成 30 年 3 月まで）全国の読者へ毎月 1,300 枚（年間 15,600 枚）および全国の点字図書館（82 館）と療養施設（13 ヲ所）へ毎月 95 枚（年間 1,140 枚）の配布を行いました。また、視覚障害者図書情報ネットワーク「サピエ図書館」に音声データを掲載し、インターネットを介しても随時聴けるようにしました。



## 2 予想される事業実施効果

視覚障害者が情報を入手するために、自由に利用できる媒体になっているものは、十分に満たされている状況ではありません。パソコンやスマートフォンなどのIT機器を使える視覚障害者は増えてきているものの、その利便性を享受できずにいる視覚障害者も、少なくありません。場合によっては、他者の手を借りることで初めて、情報を入手できる状況になることも少なくないのです。

しかし、就労に役立つ医療情報や自身の健康に関することや、日常生活を送る上で参考となるような生活情報を得て、自立して安定した生活を送りたいという願いは、障害の有無に関わるものではありません。視覚障害者の情報環境が未整備な状況において、「医学研究」や「ホームライフ」という情報誌の存在は、視覚障害者の就労・自立に有益な情報を得る方法として非常に貴重なものとなっています。

提供方法は、毎月1度、定期的に発行する月刊誌の形を取りました。この利点として、新しい情報を即時的に提供することができる点があります。また、配布という形で提供しているため、利用者の手元に置いておく事が可能となり、本人が必要なときに必要な情報を素早く確認することができる点を挙げる事ができ、事業実施の効果は高いと言えます。就労支援および自立支援のためのオリジナルコンテンツを提供する事業は、多くの利用者から必要とされています。他にも同様のサービスがない中、今後も本事業を継続すべき価値があります。

## 3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 日本点字図書館(ニッポン テンジ トシヨカン)

住所： 〒169-8586 東京都新宿区高田馬場 1-23-4

代表者： 理事長 田中 徹二(タナカ テツジ)

担当部署： 総務部総務課 (ソウムブ ソウムカ)

電話番号： 03-3209-0241

F A X： 03-3204-5641

E - m a i l： nitten@nittento.or.jp

U R L： <http://www.nittento.or.jp/>